



2024年7月18日

各 位

会社名株式会社 E L E M E N T S
代表者名代表取締役社長 長谷川 敬起
(コード番号：5246 東証グロース市場)
問合せ先執行役員 C F O 山田 洋輔
(TEL 03-4530-3002)

**第三者割当による新株式、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び
第25回新株予約権の発行に係る資金用途の変更に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、2023年8月17日付「第三者割当による新株式、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第25回新株予約権の発行に関するお知らせ」および、2024年1月25日に開示した「第三者割当による新株式、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第25回新株予約権の発行に係る資金用途の変更に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的な用途」(以下、「資金用途」といいます。)につきまして、下記の通り変更することと致しましたので、お知らせいたします。

1. 変更の理由

当社は、2023年8月17日付「第三者割当による新株式、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第25回新株予約権の発行に関するお知らせ」において開示いたしました通り、資金調達を実施し、本日までに1,782,793千円を調達いたしました。

当社は、2024年1月25日付「株式会社アドメディカの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」の通り、株式会社アドメディカの発行済株式の50.1%を625百万円で取得、当該株式取得費用については2024年1月25日付「第三者割当による新株式、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第25回新株予約権の発行に係る資金用途の変更に関するお知らせ」の通り、エクイティ資金を充当しておりました。他方、2024年7月18日に開示した「資金の借入に関するお知らせ」に記載の通り、当社においては、収益性の改善に加え、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債の行使により、2024年第二四半期末時点の自己資本比率が44.2%まで改善しております。また、マクロ環境を見た場合、長期金利が上昇基調となっており、将来的な金利上昇リスクが存在しております。当該状況を総合的に勘案した結果、固定金利を中心とした借入によるファイナンスを実行することが適切と判断いたしました。

当該状況を踏まえ、当社として資金用途について、当初の資金用途に近づける形で下記の通り変更することを決議いたしました。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。(変更箇所は__で示しております。)

【変更前の内容】

具体的な使途	金額 百万円 (充当済金額)	支出予定時期
① 公的個人認証に対応するための個人認証基盤の拡充に必要な人件費及び通信費等の運転資金	<u>400 (30)</u>	2023年9月～2025年11月
② 本人認証 (Auth) 商品等の開発に必要な人件費及び通信費等の運転資金	<u>300 (25)</u>	2023年9月～2025年11月
③ 個人情報管理データ基盤の整備及び暗号鍵分散管理技術の確立に必要な人件費等の運転資金及びデータセンター等の設備資金	<u>750 (130)</u>	2023年12月～2026年11月
④ M&A、資本業務提携に係る資金	<u>800</u>	2024年2月～2026年11月

【変更後の内容】

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
① 公的個人認証に対応するための個人認証基盤の拡充に必要な人件費及び通信費等の運転資金	<u>550 (95)</u>	2023年9月～2025年11月
② 本人認証 (Auth) 商品等の開発に必要な人件費及び通信費等の運転資金	<u>375 (50)</u>	2023年9月～2025年11月
③ 個人情報管理データ基盤の整備及び暗号鍵分散管理技術の確立に必要な人件費等の運転資金及びデータセンター等の設備資金	<u>1,150 (400)</u>	2023年12月～2026年11月
④ M&A、資本業務提携に係る資金	<u>175</u>	2024年2月～2026年11月

3. 今後の見通し

本件による今期の連結業績への影響は軽微であります。

以 上